

大阪・富田林寺内町 (とんだばやしじないちょう)

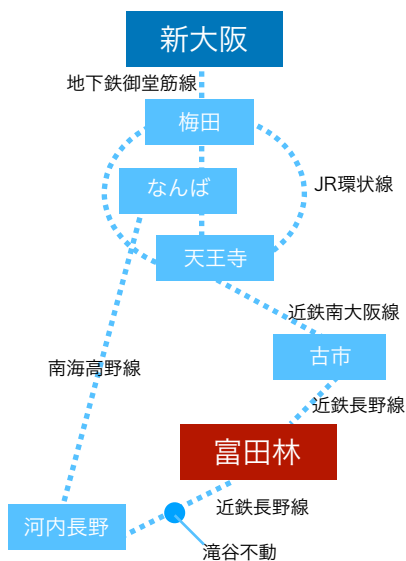
富田林寺内町は興正寺別院の寺院を中心に堀や土塁で防衛した宗教自治都市。1558年～1561年に京都興正寺の証秀上人が四ヶ所より八人の有力者を集め、興正寺別院を建立しました。寺内町の広さは東西400m、南北350m。出入り口の四ヶ所にはそれぞれ木戸門が構えられ、町の治安を守っていました。

江戸時代には幕府の直轄地となり、近くを流れる石川の水運、東高野街道、千早街道が交差する陸運にめぐまれて、商業の町として大いに発展しました。

特に酒造業が盛んで「富田林の酒屋の井戸は底に黄金の水がわく」幕末の俗謡はそんな寺内町の繁栄ぶりを伝えていました。



新大阪から1時間強の「ついでの旅」



新大阪からは、●天王寺～近鉄大阪線・近鉄長野線を経由するルートと、●なんばから南海高野線で河内長野を経由するルートがある。



# 八人衆の豪邸が奏でる上質 富田林 寺内町

新大阪から1時間強のところに寺院を中心にしてつくられた宗教自治都市の富田林・寺内町があります。こう書けばお寺のニオイがしそうですがそんなことはなく、むしろ往時に商業の町として反映した豊かさがみえます。富田林駅周辺からは想像できない静けさの中に、町の経営を委ねられた八人衆の豪邸が堂々たる姿を残しています。町を保存する意欲がジンジンと伝わり、今では古住宅をリノベした店舗があちこちで元気な姿をみせています。とはいえ全体は観光然とした雰囲気ではなく、道も建物もきれいで、店も住民もどこかノンビリしていて気持ちいい。試しに食べた蕎麦は驚くほど美味しく、同じく試しに入ったカフェの珈琲は380円なのに初めて味わう深い味。こうして護られた優雅な町の中は総じて上質です。

## 寺内町の歩き方

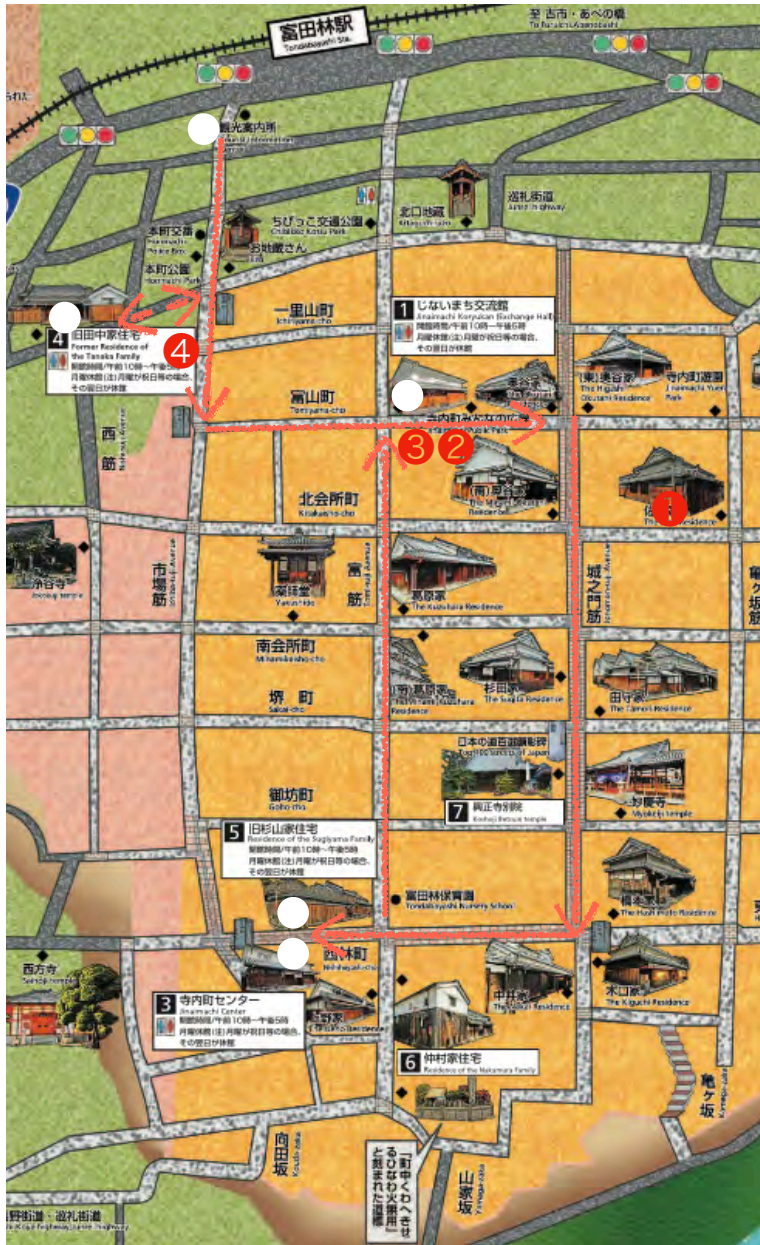
駅からすぐなのに、駅前から隠れたところにあるから私も迷いました。だからまず観光案内センターの観光交流施設きらめきファクトリーに入って地図を求め、そこからスタートするとよいでしょう。

市場筋に入っていくと旧田中家住宅がある。無人で無料。耐震改修の様子がみれます。また市場筋に戻り、先に行くくと「じないまち交流館」の矢印があるので左折。

じないまち交流館で町の紹介ビデオをみたりして、いよいよ核心部に入っていきます。城之門筋がメインで、田守邸を超えたところに興正寺別院があります。その先矢印に従って左折すれば旧杉山家邸があります。家の前に寺内町センターがあり、覗いてみましょう。杉山家の長女で、歌人として知られる石上露子のことが詳しく解説されています。旧杉山邸の入場料は400円。豪邸内をゆっくり見学できます。その後は富筋を上ればじないまち交流館に戻れます。古住宅をリノベしたカフェや蕎麦屋、洋食屋があり、雑貨屋もあるので、食事して・お茶して・買物を楽しみましょう。



町中でよく目にする額入りの花



MAP/富田林じないまち絵図：http://tondabayashi-navi.com/images/map\_jinaimachi.pdf

### 旧杉山家住宅

富田林八人衆の一人として町の経営に係りました。1685年に酒造株を取得して作り酒屋となって成功。町割(まちわり)の一画を占めるほどの広大な敷地に酒蔵、釜屋、土蔵など十数軒が軒を接しています。現存する主屋は17世紀中期の建築で昭和58年重要文化財に指定されました。

### 石上露子 (いそのかみ つゆこ 1882-1959)

本名・杉山孝(すぎやまたか)。杉山家の長女で22歳の時に短歌が「明星」に載ってデビュー。明治36年には「新誌社」の社友になり与謝野雅子らとともに「新詩社の五才女」と称されました。



### 一泊するなら

一泊するなら富田林ではなく滝谷不動周辺に宿が幾つかあり、**かんぼの宿富田林**は天然温泉の展望風呂があって、日帰り温泉もできるから、散歩後に一風呂浴びることもできる。滝谷不動駅から歩いて15分、滝谷不動明王寺の手前には**グランドホテル二葉**があり、私は散歩前夜に一泊した。部屋もよく朝食もよく、リーズナブルな値段。トロンの展望大浴場もあるがちょっとくたびれている。

### 滝谷不動明王寺

グランドホテル二葉から歩いて2,3分の処にあり、821年に弘法大師が創建したと伝わる真言宗の寺院。「日本三大不動」の一つといわれ、「眼の神様」として眼病平癒の祈願に訪れる人が多い。本尊の不動明王、両脇の二童子立像は国の重要文化財指定。毎月28日には縁日が開かれます。



### ① 珈琲豆の蔵 平蔵

蔵をリノベした店内は賑やか。パブアだのと珍しい珈琲豆を入手して、自家焙煎で販売。店内で珈琲を飲むこともできる。ここはやはり平蔵ブレンドを試してみました。値段は380円という安さ。ちょっと酸味かな? と思っている内に甘みが出て、後味は苦みという初めて味わう深い味。



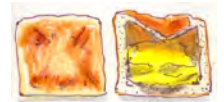
### ② 蕎麦 八町茶屋 赤猫

交流館前の古民家を改装した蕎麦屋。庭のみえる店の中は人懐かしい空間。ざる赤猫餅付(900円)を注文。まあ観光地の蕎麦だから…と期待していなかったが、これが素晴らしく美味しい。赤猫餅はきなこ餅で、大ききといい味といい、まるでデザート。



### ③ パン工房 泰(やす)

赤猫の隣にあるパン屋。クリームパンが有名のようで、帰りの新幹線の中で食べようと思いましたが、残念ながら「本日売り切れ」。



### ④ カフェ エロード

見事なアイビーの外観。誘われるように入ってみると中も煉瓦の渋みが充満する素晴らしい雰囲気。東京にこんな喫茶店があったら行きつけにしたい。

